

柘植地域

まちづくりだより

第253号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)

〒五二九一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

発行日

二〇二〇(令和二)年三月一日(日)

柘植地域俳句コーナー

一盛に

木の芽田楽

翁の里

中嶋国博



地域の財産、私たちの誇り
県内初の鉄道駅「柘植駅」

笑顔とつながりが
柘植駅を支えている

2月19日(水)午前、柘植駅の2・3番ホームにある待合室で記念式典を開催。来賓・スタッフ等、約60人が県内初の鉄道駅の誕生から130周年を祝いました。関西線沿線の島ヶ原、佐那具(府中)、新堂(西柘植)、加太ほか壬生野の自治協の協力で成功裡に終了しました。



アトラクションでは、オカリナサークル「なでしこG.A」の皆さんの伴奏による「鉄道唱歌」斉唱で盛り上げました。



130周年、ともに未来を切り拓こう!



記念品は後日、柘植地域内に各戸配付する予定です。



伊賀ケーブルテレビをはじめ、三重テレビ、NHK津放送局伊賀支局、さらに中日、朝日、毎日の各新聞社も取材に訪れ、大きな記事にしてくださいました。

式典終了後は全員がホームに出て、草津線・関西線に到着した列車の乗降客に記念品を配布しました。



NHK ニュースWEB





10月19日
4か月前イベント
沿線まち協で記念
シンポジウム開催



1月19日 1か月前イベント
跨線橋「ホントかるた」
パネル披露式



キラッと輝いた！ 柘植駅&柘植地域のこの一年



10月10日
J R東海柘植会長
との面談



11月19日
3か月前イベント
駅に防災パネル設置



駅前花壇づくり
11月24日、12月6日

ご臨席いただいた来賓のみなさま

- 衆議院議員 川崎二郎 秘書 増田 雄様
- 衆議院議員 中川正春 秘書 福原 勝様
- 三重県議会議員 稲森 稔尚様
- 三重県地域連携携副部長 坂三雅人様
- 伊賀市議会議員 山下典子様
- 伊賀市議会議員 北出忠良様
- 伊賀市伊賀支所長 居附秀樹様
- 伊賀市交通政策課長 福岡秀明様
- 伊賀市地域づくり推進課長 東浩一様
- 西柘植地域まちづくり協議会長 奥澤重久様
- 壬生野地域まちづくり協議会長 界外直樹様
- 府中地区住民自治協議会長 福永昭様
- 島ヶ原地区住民自治協議会長 松永亨二様
- 加太地区まちづくり協議会会長 森下勇司様
- 鉄道OB会柘植支部長 松山武宏様

メッセージをいただいたみなさま

・本日を迎えることができましたのも、130年の間、地域や関係者の皆さんに愛され、親しまれるとともに、歴史と文化を継承され、柘植駅を核としたまちづくりに取り組んでいただいた結果だと思っております。...

伊賀市長 岡本 栄様

・このたび柘植駅におかれましては開業130周年をむかえられたとのこと、同じ「柘植」の名を持つ者として、うれしく思います。...

J R東海旅客鉄道株式会社
代表取締役会長 柘植 康英様

(以下、「ご芳名のみ紹介」)

衆議院議員 川崎二郎様
衆議院議員 中川正春様
伊賀市議会議員 赤堀久美様



文化講演会(第2回)開催

教育文化部会

2月15日(土)午後、市民センターで文化講演会を開催しました。講師は田中重之さん(小林区在住)にお願いし、「柘植の歴史と文化」についてお話しいただきました。50名以上の参加者は、お話しに耳を傾けました。

地域の私たちが未来を切り拓くためにできること... それは、過去を知ること、伝えること



主な講演内容

① 斎王群行

斎王が京から伊勢の斎宮まで5泊6日で行く。平安時代初期は、柘植がルートとなっており、中柘植区「斎宮芝(サイカシバ)」付近で頓宮が造営されたという。

② 家康の伊賀越え

天正10年6月「本能寺の変」直後、家康が三河まで逃避行した際、「徳永寺」で休息をとった。甲賀市の「小川城」からの足取りは特定できていない。

③ 柘植駅開業130周年

明治23(1890)年2月19日に三重県内で初の鉄道駅として開業。
・・・19日に開業130周年式典を控えタイムリーなお話でした。

いざというとき...

応急手当はとても重要!

...救命入門講習会開催...

自主防災実行委員会
2月15日(土)午前、消防団の協力の下、救命入門コース研修を開催しました。



冒頭、応急手当の重要性のお話があり、「心肺停止」の事態に居合わせた人が、なんらかの処置をした場合は救命率が2倍高くなる

ることでした。その後は、心肺蘇生法・AEDの使い方を人形で練習しました。

一人ずつ、心臓マッサージの練習

参加者から出たQ&A
Q 体が濡れている場合?
A 拭いてから

Q ネットレス着用者は?
A 胸に載らないように横へずらして

Q ペースメーカーをつけている人に対して?
A その部分を避けて

Q 人工呼吸は必須?
A □を付けることに躊躇するなら、マッサージだけでも続けて!



参加者の感想より

みんな真剣にAEDの使い方など学びました。質問も積極的。万一の事態に自分が居合わせたとき、「救急車を呼ぶ」「AEDを取りに行く」など具体的な手助けができるようになったと感じます。



心臓マッサージは強く速く絶え間なく行う必要があります。しかし、救急車到着まで平均で9分かかります。一人でやるというより、居合わせた周りの人の協力こそが重要だと思います。

勇気をもって手助けできる人になりたいと思います。

2019各事業をふりかえる 事業連携交流会&行政ヒヤリング

2月7日(金)午後、今年度最後の事業連携交流会を開催し、伊賀支所の担当職員とともに、事業のふりかえりを行いました。

各事業運営の中心になっていく部会長や実行委員長ほか、関係者が今年一年間の事業成果や課題、来年度の取り組みに向けて意見交換をしました。今後、この振り返りをもとに運営委員会、来年度総会で議論していく予定です。



農家非農家に限らず、地域全体で取り組みを進めていくことが必要です。

防護柵の補修とアライグマ対策

産業交流部会・伊賀市鳥獣害対策協議会

2月25日(火)午後、県伊賀庁舎で臨時総会が開かれ、破れてしまった防護柵などを地域でどう維持管理し、対策の効果を高めるか、またアライグマ対策の進め方について協議しました。



人権・同和問題地区別懇談会 柘植地域最終報告会

2月4日(火)夜、市民センターで最終報告会が開かれ、各区ならびに小中学校の今年度の活動報告がされました。

いくつか取り組み例を挙げますと、岡鼻区では外国人差別を、小林区では京都の岡崎公園を訪れ水平社に関わることを、上町区ではピース大阪を視察して平和を、それぞれテーマに各区で工夫をして取り組んでいる様子が交流できました。



第40回解放文化祭

2月11日(火)建国記念の日)に、いがまち人権センターで前川父母の会主催の解放文化祭が開かれました。



伊賀市長や伊賀市教育長のあいさつのもと、館内いっぱいのお客様を前に、小学校1年生から中学生、高校生、保育園児、父母の会のメンバーがそれぞれの方法で、学習成果などを発表してくれました。「かぞくのみんなありがとう」(小1)。

「自分を振り返ることから」(小5)、「親の経験や思いをのせて」など、舞台発表のタイトルにあるように、家族から始まって、地域のこと、自分の将来のこと、そして子どもに対する親の思いなどが発表されました。

農業センサスのデータは、国際的にも活用されている重要な農業のデータです。ご協力ありがとうございました。



原則、各区の調査担当者が1月中旬から2月中旬にかけて各戸お伺いしたことと思います。

みなさんにお答えいただいた調査結果は、今後、全国集計され概数値は2020年11月末に確定値は2021年3月末までにホームページで公表される予定です。

QRコードで農業センサスのサイトを見てくださいませんか?



★★★事務局だより★★★

▼2月16日(日)、旧大山田村の3自治協が主催する、みえのみらいづくり塾「おおよまだ夏祭りについて考える」ワークショップが開かれました。飛び入り参加してきましたが、地域の将来について困っているのはどの地域も同じと感じました。▼もう一つ、2月19日の柘植駅開業130周年記念式典の直後に、旧阿山郡内の自治協議会(11組織)の会長が柘植の市民センターに集まり、お互いの有する課題を話し合う会議がありました。合併以来初めてのことだと思われまます。情報交換の場として「ヨコ」のつながりは大切だと思いました。(西田方計)